

令和3年度 学位審査要項 【ヘルスシステム統合科学研究科 教員用】

1 日 程 *詳細な日程は「学位論文審査日程」をご覧ください。

		9月24日付け授与	3月25日付け授与
論文博士 (乙)	資格審査受付期間	/	12月2日(木)～12月3日(金)
	資格認定日 (教授会)	/	12月22日(水)
申請期間		7月9日(金)～7月13日(火)	1月7日(金)～1月12日(水)
論文発表会		学位申請日～8月25日(水) 12時まで	学位申請日～2月24日(木) 12時まで
学位合否判定会議		9月1日(水)	3月2日(水)
学位論文データ提出		9月17日(金)	3月17日(木)
学位記授与式		9月24日(金)	3月25日(金)

2 要項・様式 :

甲(課程博士) : 申請者用はヘルスシステム統合科学研究科HPからダウンロードできます。

<https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/student/degree/doctor/>

乙(論文博士) : 申請者用は紹介指導教員の許可無く申請することを防ぐため、一般には公開しておりません。

紹介指導教員から申請者へ伝えてください。

https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/social/ronbun_hakase/otsu/index/

教員用 : 自然系研究科等事務部のHPからダウンロードできます。学務課のページからご確認ください。

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/sizenkei/>

3 連絡・提出先

岡山大学自然系研究科等 学務課 大学院担当(工学部1号館1階)

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

TEL : 086-251-7771

E-MAIL : hs-gakui@adm.okayama-u.ac.jp

4 論文博士(乙) 学位申請資格審査

論文博士(乙)を申請する者は、全員**資格審査(書類審査)**が必要です。

(注) 博士後期課程の単位修得満期退学者が学位申請する場合も、資格審査が必要です。

1) 学位の授与を申請することのできるものは、次の各号の1に該当する者とします。

- 一 大学院の博士課程において、所定の期間在学し、所定の単位を修得して退学した者
- 二 大学院の修士課程を修了した後、4年以上の研究歴を有する者
- 三 大学を卒業した後、6年以上の研究歴を有する者
- 四 短期大学又は高等専門学校を卒業した後、9年以上の研究歴を有する者
- 五 高等学校を卒業した後、12年以上の研究歴を有する者
- 六 その他、前各号以外の学歴を有する者で、研究歴が博士課程修了者と同等以上と認められた者

2) 研究歴とは、次の各号に掲げる学位授与の日までの期間とします。

- 一 大学の専任教員として研究に従事した期間
- 二 大学の研究生として研究に従事した期間
- 三 大学院の学生として在学した期間
- 四 官公庁、会社等において研究に従事した期間
- 五 その他、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許等によって研究に従事したことが確認された期間

論文博士(乙)を申請する者については、上記の資格に加え、学位申請資格審査提出書類の内容、学位審査に必要な条件(参考論文数などの審査基準)について、あらかじめ部門長へ確認しておいてください。

5 審査の流れ：別紙「学位論文審査日程」をご確認ください。

項目	内容	提出期限	
		9月授与	3月授与
<p>【資格審査】</p> <p>論文博士（乙）資格審査提出書類</p> <p>様式資 A：学位申請資格審査願 様式資 B：履歴書 様式資 C：研究歴 様式資 D：研究従事内容証明書 様式資 E：研究業績書 卒業（修了）証明書 成績証明書</p>	<p>論文博士（乙）のみ：別紙「学位申請資格審査要項」参照 学位申請者が作成し、紹介指導教員から大学院担当へ提出してください。</p> <hr/> <p>資格審査受付期間より前に、提出書類の内容、申請資格及び学位審査に必要な条件（参考論文数などの審査基準）について、部門長とよく確認した上で提出してください。</p> <p>学位申請資格審査は、書類審査のみで行いますので、事務にて書類を確認し、資格審査委員会（教授会）に諮ります。 （大学院担当から教員への資料配布（審査依頼）は行いません。）</p>	/	<p>12月 2日 （木） ｝ 12月 3日 （金）</p>
<p>【教授会】</p> <p>論文博士（乙）資格認定</p>	<p>学位申請資格を諮ります。 学位申請資格の有無は資格審査委員会（教授会）の後、紹介指導教員へ連絡しますので、申請者へお伝え願います。 申請資格と認定されましたら、別紙「学位申請要項」に基づき、学位申請を進めてください。 学位申請要項・申請様式は、「2 要項・様式（1 ページ）」記載のアドレスを案内してください。</p>		<p>12月 22日 （水）</p>
<p>【学位申請】</p> <p>学位申請書類一式</p> <p>学位論文 様式 1：学位申請書 様式 2：学位論文の要旨 様式 3：学位論文の概要 様式 4：論文目録・参考論文写し 様式 5：履歴書 様式 6：氏名等確認票 様式 7：リポジトリ登録依頼書</p>	<p>別紙「学位申請要項」参照 学位申請者には、事前に正指導教員の点検を受けた上で、以下の通り申請書類一式を提出するよう指示しています。 （大学院担当から教員への資料配布は行いません。）</p> <p>大学院担当：左記の申請書類一式…………… 1部 （学位論文を除く） 様式 2・3・4・5のWORDファイル ※この時点では、学位論文全文の大学院担当への提出は不要です。学位審査完了後に完成版を提出してください。</p> <p>正指導教員又は紹介指導教員： 左記の申請書類一式の写し…… 3部以上 （審査を担当する予定の教員-主査・副査-分）</p> <hr/> <p>【リポジトリ登録依頼書について】</p> <p>博士学位論文全文の公表は、印刷公表に代えてインターネット公表（PDF データ）により行います。岡山大学では「岡山大学学術成果リポジトリ」での公表となります。</p> <p>また、国立国会図書館でも全文データを保管し原則インターネットで公開します。</p> <p>先生の方で、登録及び公開するにあたっての条件など、ご確認をお願いします。</p> <p>※やむを得ない事由で授与後 1 年以内に公表できない場合は、<u>学務委員会にて承認を受けた上で</u>、全文に代えて著者の作成した要約（様式 2：学位論文の要旨）を公表します。 詳細は『7 学位論文の提出』（7 ページ）をご確認ください。</p>	<p>7月 9日 （金） ｝ 7月 13日 （火）</p>	<p>1月 7日 （金） ｝ 1月 12日 （水）</p>

<p>条件付き学位申請受理依頼書 《様式 10》</p>	<p>教員が作成し、学位申請者に渡してください。 学位申請者が他書類と共に大学院担当へ提出します。</p> <hr/> <p>参考論文が部門で定める数に足りない場合に、提出してください。 なお、提出期日は、各部門で定めてください。 学位申請に必要な参考論文が審査中で掲載許可待ちの状態の場合、掲載許可通知が届き次第学位審査が出来るよう、条件付きでの申請を依頼するための書類です 次の証明書類を添付（審査中であることを確認するため）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査中の参考論文の写し ・参考論文の受領通知 	<p>7 / 13 (火)</p>	<p>1 / 12 (水)</p>
<p>学位審査願 《様式 11》</p>	<p>正指導教員または紹介指導教員から 部門長へ「原本」, 学務課大学院担当へ「写し」を提出してください。</p> <hr/> <p>正指導教員または紹介指導教員は学位審査願に申請書類一式の写しを添えて部門長へ提出し、学位審査を依頼してください。 大学院担当からは配付しません。 学生の所属は、入学時の学生便覧を参考にしてください。</p>	<p>7 / 14 (水)</p>	<p>1 / 13 (木)</p>
<p>【部門会議（予備審査）】</p>	<p>部門長は部門会議（予備審査）にて、学位論文及び申請書類に基づき、以下のことを審議してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> *論文等の内容が、学位審査に値する論文であるか否か *学位審査委員候補者の選出 <p>主指導教員は主査になれませんので注意してください。 (主査以外の審査委員にはなれます)</p>	<p>学位申請日) 7 / 26 (月) 12時まで</p>	<p>学位申請日) 1 / 28 (金) 12時まで</p>
<p>部門会議審査結果報告書 《様式 12》</p>	<p>部門長から 学務課大学院担当へ提出してください。</p>	<p>7 / 26 (月) 12時まで</p>	<p>1 / 28 (金) 12時まで</p>
<p>【教授会】 (学位審査委員の承認)</p>	<p>学位審査委員の承認</p>	<p>7 / 28 (水)</p>	<p>2 / 2 (水)</p>
<p>論文発表会開催日時一覧 《様式 13》</p>	<p>部門長から学務課大学院担当へ 部門分をまとめて 提出してください。</p> <hr/> <p>学務課大学院担当より関係者へメールにて案内します。 (紙媒体、メール添付問いません。) hs-gakui@adm.okayama-u.ac.jp なお、論文発表会の詳細は正指導教員または紹介指導教員から申請者に伝えてください。</p>	<p>論文発表会の 1週間前まで</p>	<p>論文発表会の 1週間前まで</p>

<p>【論文発表会】</p> <p>【学位審査委員会】</p> <p>【部門会議】（合否の審議）</p>	<p>【論文発表会】 学位申請者ごとに主査が行う。</p> <p>【学位審査委員会】 「甲：最終試験・乙：学力の確認」を行なってください。</p> <p>甲：最終試験は、部門会議による論文発表会をもって代えることができます。</p> <p>乙：学力の確認（外国語1カ国語の試験）は、本学大学院を単位修得満期退学し、退学後5年以内の者であれば免除することができます。</p> <p>【部門会議】 「合否の審議」を行ってください。</p>	<p>8 / 2 5</p> <p>(水)</p> <p>1 2時まで</p>	<p>2 / 2 4</p> <p>(木)</p> <p>1 2時まで</p>
<p>学位審査報告書</p> <p>《様式14》</p> <p>原本とWordファイル</p>	<p>主査から 学務課大学院担当へ「原本」と「Wordファイル」、部門長へ「写し」を提出してください。</p> <hr/> <p>報告書左下の提出日付は、学位審査委員承認（教授会）から提出締切までの日としてください。</p> <p>Wordファイルは 学務課大学院担当へメール送信してください。</p> <p>「学位審査の結果報告」の部分を、岡山大学附属図書館・学術成果リポジトリへ使用します。</p> <p>hs-gakui@adm.okayama-u.ac.jp</p>	<p>8 / 2 5</p> <p>(水)</p> <p>1 2時まで</p>	<p>2 / 2 4</p> <p>(木)</p> <p>1 2時まで</p>
<p>【審査結果説明会】</p>	<p>大学院担当より教授会構成員へ、以下の書類を配付します。</p> <p>【申請書類（様式2～5）の写し】</p> <p>【学位審査報告書（様式14）の写し】</p> <hr/> <p>論文の概略説明・質疑応答を行う</p> <p>審査結果説明会終了後、教授会を開催する。</p>	<p>9月 1日</p> <p>(水)</p>	<p>3月 2日</p> <p>(水)</p>
<p>【教授会】</p> <p>合否の議決</p>	<p>「審査結果説明会」での報告を元に、合否の議決を行います。</p> <p>教授会后、大学院担当より学位授与予定者へ学位決定の通知と学位記授与式及び学位記伝達式の連絡を行います。</p>		
<p>学位論文PDFデータ</p>	<p>学位申請者から、学位論文全文のデータをPDFファイルで大学院担当へ提出してください。</p> <p>(PDFファイルが難しい場合はWordなど他の形式でも構いません。)</p> <p>データの内容は、学位審査で認められたものと同一にしてください。</p> <p>【ファイル名】</p> <p>『学生番号-fulltext』としてください。</p> <p>データには暗号化、パスワード設定、印刷制限等を行わないでください。</p> <p>【提出方法】 メール送信か、USBメモリ。</p> <p>事務メールの受信可能容量は一度に10MBまでですので、PDFデータを分割したり、ファイル送信サービスなどを利用してください。</p> <p>USBメモリは返却いたします。CD-ROMは受付できません。</p> <p>【E-mail】 hs-gakui@adm.okayama-u.ac.jp</p> <p>※博士学位論文全文の公表は、印刷公表に代えてインターネット公表により行います。岡山大学では「岡山大学学術成果リポジトリ」での公表となります。</p> <p>また、国立国会図書館でも全文データを保管し原則インターネットで公開します。</p> <p>(詳しくは、『7 学位論文の提出』をご確認ください。)</p>	<p>9 / 1 7</p> <p>(金)</p> <p>まで</p>	<p>3 / 1 7</p> <p>(木)</p> <p>まで</p>

6 部門長一覧, 学位名称

専攻名	部門名	部門長氏名	学位名称
ヘルスシステム統合科学専攻	バイオ・創薬	早川 聡	博士 (統合科学) Doctor of Philosophy
	医療機器医用材料	紀和 利彦	
	ヘルスケアサイエンス	狩野 光伸	
	ヒューマンケアイノベーション	藤井 大児	

7 学位論文の提出

岡山大学学位論文の登録・公開手順について

平成 25 年 4 月 1 日付け学位規則改正により, 博士学位論文全文の公表について, これまでの印刷公表に代えてインターネット公表により行うことになりました。

インターネット公表は授与大学の協力を得て行うこととなっており, 岡山大学では「岡山大学学術成果リポジトリ」での公表となります。また, 国立国会図書館でも全文データを保管し原則インターネットで公開します。

□	学位論文 全文データ 《PDF》	<p>学位論文全文のデータをPDFファイルで大学院担当へ提出してください。 (PDFファイルが難しい場合はWordなど他の形式でも構いません。) データの内容は, 学位審査で認められたものと同一にしてください。</p> <p>【ファイル名】 『学生番号-fulltext』としてください。 データには暗号化, パスワード設定, 印刷制限等を行わないでください。</p> <p>【提出締切】要項1ページ目の『1 日程』参照。</p> <p>【提出方法】メール送信か, USBメモリ。</p> <p>事務メールの受信可能容量は一度に10MBまでですので, PDFデータを分割したり, ファイル送信サービスなどを利用してください。USBメモリは返却いたします。CD-ROMは受付できません。</p> <p>【E-mail】 hs-gakui@adm.okayama-u.ac.jp</p>
---	---------------------------------	--

例外について

やむを得ない事由で授与後1年以内に公表できない場合は, 大学の承認を受けて全文に代えて著者の作成した要約を公表します。

やむを得ない事由としては以下のような場合が考えられますが, 大学の承認を得ることが必要となります。

リポジトリ登録依頼書《様式 7》に理由を明記してください。

ただし, 承認された場合もやむを得ない事由が解消した場合は公表が求められます。

国立国会図書館の公開についても同様の扱いとなります。

また, やむを得ない事由があると承認された場合も, 求めに応じて大学および国立国会図書館が閲覧に供します。

- ・著作権や個人情報に関わる制約がある場合
- ・特許の申請に関わる場合
- ・出版刊行, 雑誌投稿を予定している場合 など

※ 岡山大学図書館で出版者の著作権を確認した結果, 本文のリポジトリでの公表が1年以内にできない場合も, 本文に代えて要約を公開します

□	要約データ	<p>やむを得ない事由で授与後1年以内に論文を公表できない場合のみ, 『学位論文の要旨《様式2》』を要約データとして公開します。 学位申請時に提出されたデータを使用しますので, 修正変更している場合は必ず最新のデータを提出してください。</p>
---	--------------	---

著作権について

共同研究者，共著者がいる場合は，事前に全員の許諾を得てください。

(学位論文への使用に加え，学位論文としてインターネット公開されることについての許諾も必要です。)

論文中に他者の著作物が含まれる場合は，事前にその権利者から許諾を得てください。

(主論文の他，副論文，参考論文についても同じ)

詳しくは，岡山大学附属図書館HP／岡山大学学術成果リポジトリ

(<http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ja>) をご確認ください。